

第4回ハイツカ湖地域ビジョン分科会のとりまとめ

開催概要

日 時：平成20年11月25日(火) 19:00～21:00(合同)

主な議事： これまでのLPの振り返り

ハイツカ湖地域の現状

今後実施していきたい具体的な行動メニュー

主 催：ハイツカ湖地域ビジョン事務局

参加者数：19名

開催の様子

はじめに、今回の開催目的、これまでのリーディングプロジェクトの取り組み概要について事務局より説明があった。各分科会に分かれた後は、はじめに行動メニューの再構築についての協議へスムーズに移行するための振り返りとして、灰塚ダム供用から約1年半、ビジョンの取り組みが始まってから約1年を経たハイツカ湖地域の現状について意見交換を行い、参加者それぞれの認識を共有した。また、各分科会の本年度に実施したLPの振り返りを行い、良かった点や課題点を話し合った。ビジョン第1版に記載される具体的な行動メニューを再構築するための意見交換では、第2回合同分科会で決定した現段階のメニュー(ビジョン基本方針案記載)と照らし合わせながら、より具体的な実行・持続可能な行動メニューを組み立てた。



各議事における意見交換のとりまとめ

	地域の現状について	本年度に実施したLP、進行中のLPの振り返り
第1・4分科会	<p>良くなった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹・紅葉が良くなった。 ・地域のイベント(歩く会、マラソン大会)が定着してきた。 ・地域外から口コミで散歩に来ている人がいる(車)。 ・地域に改めて目を向けることができた。 ・(ビジョンに取り組むようになって)生き活きと働くようになった。 <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレがない 汚い場所になるおそれ ・釣り系などのゴミ ・木が大きくなり、湖が見えない箇所が出てきた。 ・ビジョンの取り組みも含め、情報がまだ行き届いていない。アピール不足。 ・笑湖歓交マップは、地域と連携できていないまま勝手にできており、情報も不均衡なところがある。 ・こだわりのある地域であることを国・行政にもっと知ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガードレールへの塗装に限らず、標識・案内板等もいずれは色調を統一させたい。
第2分科会	<p>良くなった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山地ならではの景観が良いので散策に適している。 ・観光資源が少ない中、地域の人々ががんばっている。 ・オシドリ、冬鳥がいる。 <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力がないと遠くから来にくい。 ・水質が良くないため、ダム湖の見た目が良くない。 ・いつ、どこでイベントを開催しているか分からなかった。 ・道路脇の草は、歩行者の安全上、草刈りの必要性がある。 ・湖からモヤがあがる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達がスムーズに行くと良い。
第3分科会	<p>良くなった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三次市の人口が減少しているのに比べ、のぞみが丘は開村以来、人口増加傾向にある。 <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域がビジョンの取り組みについて知らない。浸透度が足りない。 ・外で働いていない主婦層にとって、ビジョンの取り組みは敷居が高い。意見や発言を求められる可能性に対して、不安やおそれを感じるだろう。 ・ガードレールのアースカラーは霧が出た時に見づらく、危険だと感じている。 	<p>【「抱きしめてハイツカ湖(仮称)」について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点でリーダー10数名の賛同を得た。 ・リーダーには、他の同様のリーダーとの交流ができることを魅力として伝えている。 ・2010年以降も継続してやっていくつもりである。 <p>【空心菜を用いた笑湖(エコ)プラント実験】について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「食」と結びつくことは、取り組む側にとっても魅力が大きい。
第5分科会	<p>良くなった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少ないながらも毎回分科会に出席する人などが出てきて、全体的に地域のことを考える機会が増えた。 <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局のサポートがなくなる来年度以降は、果たして活動が継続して動くのかは疑問が残る。「やりたい人が集まってください」という形では実効力はないだろう。 ・住民の多くが関わっているわけではない。自治会から強制的に数人ずつ出してもらおうといった、実行委員会のような組織づくりを今年度中に早急に行う必要があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光マップと違ってウォーキングマップはどちらかと言えば地元の方が使う可能性の方が大きい。その場合、地元には高齢者が多い。このマップでは地図が小さく、どこをどう歩けば良いのか見にくく使いにくい。多留氏が作りたかったマップも同様だと思う。マップは現在の2倍の大きさにして、マップ上には距離の目安と駐車場、トイレの位置とランドマークを入れることが必須。
第6分科会	<p>良くなった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウエットランドの存在が口コミで少しずつ知られつつある。 ・安田地域に関してはウエットランドの存在が少しは知られた。 ・今まではこのような取り組みが無かったと思う。今回色々と実施したことで地域連携が進んだのではないか。 ・地域間交流の基礎が出来つつある。 ・身近で鹿が見られたこと。 ・立案したら早急に実施されたこと。 ・人と人との交流ができた。 ・水辺の景色が落ち着いてきた。 <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思ったより参加者が少なかった(P R不足)。 ・水質が悪い。 ・立案したら早急に実施してほしい。 	<p>良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した中で、専門的な説明は非常に参考になった。標本作成は人気があったと思うので続けて欲しい。 ・第2回夏休み企画(7/26)について、子供もだが、大人が楽しかった。 ・冬鳥観察会は非常に良かった。 ・夏休み企画で飛び入り参加の人がいたことが嬉しかった。 <p>課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリが来なかった。 ・ウエットランド周辺の除草問題。 ・参加者が少ない。 ・第2回夏休み企画(7/26)について、参加人員を増やす方法を考える必要がある。(PRして、とにかく参加してもらおう。) ・第2回笑湖学校は参加人数が減った。(P R不足)

	行動メニューの協議における主な意見	決定した取り組みメニュー
第1・4分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいものや外からのものなど、取って付けたものではなく、自然の魅力や今あるものを活かす。ここの景観は財産。 ・ハイヅカ湖地域は明るくて安心、安全。 ・広工大が毎年建築の授業で来ている。この機会を活かす。 ・花の種を里山公園へ取りに行きみんなで蒔く。 ・ダム湖の周りに桜の木を植樹。 ・口コミの素材、情報の地域内での発掘と共有化。 ・のぞみが丘のせせらぎの中へ入りゴミを取り除く。 	<p>大谷植物園を活用したイベント・取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒木で焼きいも ・オオムラサキの舞う谷にする <p>標識・案内板・ガードレール等の色調の統一</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷地区ガードレールペイント企画 <p>地元の事(自然・文化・歴史・料理)を知る(まず地元の人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アースワークガイド ・地域の自然 ・地元のイベント・祭りなどの地域ガイド <p>モミジ山の維持管理</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観に配慮したトイレの設置(モミジ山麓、この付近はトイレが7,8kにわたって無い) ・湖面を觀賞するための眺望点をつくる ・湖畔の散策を楽しみながらできるように木や花を植える・草刈りをする。
第2分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・大橋の橋上が星を見るロケーションに適している。 ・ダム湖畔のルートを1周したい。キロポスト、サインポストがあると良い。 ・草刈りを種類を意識して行えば植物園となるのではないか。 ・生態系のつながりを教えるガイド、インストラクターがいると良い。 ・ダム湖沿いの交通規制は10km程度なら可能。 	<p>見所マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節マップ ・ウォーキング・散策マップ ・おすすめ鳥スポット <p>副ダム堆積物の利活用</p> <p>雑草刈と資源化</p> <p>キロポストの設置</p> <p>自然観察ガイド講座の継続</p> <p>道路沿いの草刈で(残した植物による)植物園づくり</p> <p>教えて食べれる山菜・植物</p> <p>家の後ろの山(背景)を刈って明るく。</p> <p>ハイヅカ湖博士(小・中・高校生、一般の認定制度)</p> <p>星の見える里</p> <p>竹林でたけのこ採り(竹林管理)</p> <p>野鳥の雑木林</p> <p>ハイヅカ湖を科学する。(霧の発生システム)</p> <p>ダム湖の貸しポート・貸し自転車、ダム湖を渡ってショートカット</p> <p>地域の自然情報のお知らせボード(アナログブログ、掲示板等)</p> <p>道路法面に展望デッキを設置する。</p>

<p>第3分科会</p>	<p>「抱きしめてハイツカ湖(仮称)」マップ作りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「笑湖ハイツカ湖交マップ」の「抱きしめてハイツカ湖」バージョンを作りたい。 ・誰が(どういう団体が)どの場所を担当するかが一目でわかるようなマップ。 ・マップは紙媒体とWEBと両方作成し、WEB上のマップでは、担当部分をクリックすると担当者の情報やその団体のホームページにリンクするようにし、どんどんつながりが広がるようにしたい。 ・どの部分が人手不足なのか分かるようにし、人員の募集にも役立てたい。 <p>マップ作りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局案の「お出かけマップ」の中面の地図に替えて、空中写真やイラストをベースにしたマップを作りたい。写真もたくさん使いたい。 ・情報はいろんなものを詰め込みすぎて総花的にならないように、目的や掲載情報別に分けて作る。 ・施設マップ・・・施設の利用方法を来る人に考えてもらえるようなマップ、トイレマップ ・集えるところマップ・・・公園など、人が集まる場所のマップ ・お食事処マップ <p>トイレの整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖岸を散歩していて、トイレがないエリアに不自由を感じる。 ・「抱きしめてハイツカ湖」等の大きなイベントを行うのであれば、必要不可欠である。 ・トイレの設置や管理の仕方について、地域が話し合う機会が持てて活性化につながる。 ・トイレがきれいな地域は、外から来た人は良いイメージを持つ。 ・外から来た人にトイレの場所を聞かれることもある。のマップにトイレの情報も載せたい。 	<p>「抱きしめてハイツカ湖(仮称)」マップ作り(実行委員会での取り組みとして、スケジュール：～2010年5月)</p> <p>マップ作り(スケジュール：今年度中)</p> <p>エコに関するものの展示会(スケジュール：～2009年5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコに関する機械、装置、システムなどの展示会イベント <p>トイレの整備(スケジュール：～2010年5月)</p> <p>トイレの設置や管理方法についての話し合いを通じた活性化？</p>
<p>第5分科会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイツカ湖周辺のウォーキングルートは、橋がないと渡れないので自宅周辺を歩くといった使い方が主だと思う。そのため、安田周辺、田総周辺、のぞみが丘周辺、仁賀周辺と、自治会区毎のルートを設定した方が現実的である。 ・車イスで動けるルートは、起伏のないなかつくに公園、灰塚ダム周辺に限られる。 ・出来上がった3種のおでかけマップは、「三次ワイナリー」や「かんぼの里」といった主要な観光施設などに置いてもらい、来年度以降も情報を増やして充実させていきたい。 ・3種(4種?)のマップを作るのであれば、どのマップに何の情報を載せるか、一度関連する分科会のみみんなで集まり整理した方が良いかもしれない。 <p>情報BOXの設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3種のおでかけマップを見て、ハイツカへ来た人たちが実際にどのように感じたか感想などを聞いたり、ここでバスが良く釣れたなどといった情報を集めてマップ情報の充実を図りたい。WEBでの書き込みを促進するほか、現地に情報BOXを数カ所設置して、観光客からも住民からも、情報集約をしていきたい。分科会にて再検討。 <p>レンタサイクル・レンタル車イスの設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客と住民の健康福祉を促進する意味から、ぜひやりたい。熊原氏が主体となってやれるのではないだろうか。設置するのは誰か、どのような組織で維持管理を行うか、分科会にて再検討。 <p>パークゴルフ・グラウンドゴルフ促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会などは自治会別で実施している現状で充分だと思う。ただ、地域外にもゴルフ場が増えてきており、利用人数の低下による場所の維持が困難になることを避けたい。ゴルフ場利用促進の啓発策などができないだろうか。分科会にて再検討 <p>エコトイレの設置提案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灰塚ダムから田戸岬、モミジ山へ至るルートはウォーキング大会の会場になっており、良い場所なのだが、30分以上歩かないとトイレがない。市が設置主体になり、維持管理は他の公園トイレ等と同様に指定管理制度で行うことになると思うが、エコトイレの設置をぜひ検討したい。 	<p>健康・福祉のマップづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングマップは、A2版の拡大地図を用いたもので作る。 ・距離を図る必要があるので、分科会メンバーで行う。雪が積もり出す前に動きたい。 <p>情報BOXの設置</p> <p>レンタサイクル・レンタル車イスの設置</p> <p>パークゴルフ・グラウンドゴルフ促進</p> <p>エコトイレの設置提案</p>

<p>第6分科会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの小学校へ呼びかける。 ・自然観察会を保育所の段階から（小さいうちから）取り組む。 ・継続することが必要。PRが必要。4季を通じてウエットランド団を中心に実施することが重要。 ・笑湖楽校の継続 ・はく製作りに挑戦する。 <p>近隣の小学校に呼びかけて定期的な自然観察会の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続けていくことが大事 ・固定された日（例えばハイツカ笑湖の日など）を設けて継続して行ったらどうか。（藤定） ・大人が楽しむこと。特に魚の採り方など良い環境に育った人（おじいちゃんなど）が、子供や孫を引っ張っていくことが必要。（今の子供の父親、母親には楽しい思い出がない。） ・大人にウエットランドを宣伝することが必要。 ・メダカすくいなどができると、おじいちゃんが孫に尊敬される機会になることなどをアピールしていく必要がある。 ・刈り取った草にカブト虫がくることを狙っている。草刈をした人にカブト虫を取る権利が与えられる“カブト虫オーナー制度”などをつくってはどうか。 ・やる気（熱くなれるもの）があれば除草も出来ると思う。 ・除草については、地元と行政とで話し合うことが必要。 <p>周辺自治会との協力による苗づくりと植樹会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木に個人のネームプレートをつけたり、みんなの森として植樹、管理するとうまくいくのではないか。 ・苗はあるので、1～2年間、各家庭で育ててくれればうまく森作りが出来ると思う(苗の里親制)。 <p>バス等歳魚の駆除について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投網大会やテンカラ（毛ばり）釣り大会などのイベントで楽しく行えばよいと思う。また、初心者向けに投網やフライフィッシング教室などをやりたい。 	<p>ブッポウソウの巣箱用支柱の設置と巣箱かけ（スケジュール：1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブッポウソウの柱を立てるための穴（2箇所）を掘ってほしい。来年4月までに何とかしてほしい。そうすれば、支柱の設置、巣箱かけは安田地区で頑張るで行う。 <p>近隣の小学校に呼びかけて定期的な自然観察会の開催（スケジュール：10年以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定された日(ハイツカ笑湖の日)を設定して取り組む。 ・高齢者の活躍の場になる。 <p>周辺自治会との協力による苗づくりと植樹会（ドングリ、モミジ、実もの）(スケジュール：1～5年)</p> <p>バス等歳魚の駆除（スケジュール：5年）</p> <p>ウエットランドの広報活動（スケジュール：浸透するまで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に口コミによるPR（川漁大会の開催などの他のイベントと合わせてPRする） ・今後もHPに掲載していく。 ・都会の子供たちを巻き込む。（探検ツアー、グリーンツーリズム） <p>ウエットランドの管理（スケジュール：5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山の管理 ・鳥の餌となる木の植樹 野鳥を増やす。 ・草刈り
--------------	--	---